

気管支喘息やアレルギー性鼻炎の治療用の ロイコトリエン拮抗剤による精神症状

明日はわが身に起こるかもしれない害反応

シリーズ2回目の後半は、気管支喘息・アレルギー性鼻炎の治療薬剤であるロイコトリエン受容体拮抗剤（モンテルカスト®、以下® 省略）による精神症状を取り上げます。

今回この薬剤を取り上げる理由は、①アレルギー性疾患の代表格であり合併も多い気管支喘息とアレル

しかし、モンテルカストの精神症状は、市販後に徐々に明るみになり、その問題が年を追うごとに注目されています。本誌でも過去に、「害反応」の欄で取り上げました〔12-13〕が、実際の症例の紹介が無かったため、身近な害反応として認識されていなかったかもしれません。また、医療従事者にも認知度の低い害反応のため、本剤による害反応としての精神症状が出て